

# 道徳

特別の教科

道徳専門の教科書会社  
日本教科書

令和 3年度

中学校道徳教科書内容解説資料

本資料は一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

# 生き方



中学校3年  
生き方を創造する  
709



中学校2年  
生き方を見つめる  
809



中学校1年  
生き方から学ぶ  
909

# るんですか？

教室で、こんな声を  
私は何度も聞いてきました。  
そのたびに  
この根本的な問いかけを  
私は、自分自身にも  
問うてきました。



[監修者]  
白木みどり 金沢工業大学教授

## ■略歴

石川県飯田高校出身、二松学舎大学文学部国文学科卒。石川県公立学校教員、上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了、金沢大学非常勤講師、上越教育大学大学院准教授を経て、金沢工業大学教授に就任。

日本キャリア教育学会常任理事、日本道德教育方法学会理事

## ■専門分野

専門：キャリア教育・道德教育学・キャリアカウンセラー（日本キャリア教育学会認定）・ガイダンスカウンセラー（スクールカウンセリング推進協議会認定）

論文・著書：『道德「読み物資料」構造の分析』（学位論文）「キャリア教育にかかわる価値観形成についての一考察」『人間としての在り方生き方をどう教えるか〜小中高 12 年間を通じた道德教育・キャリア教育』教育出版、『中学校学習指導要領解説 - 道德編 -』文部科学省（分担執筆）

受賞：2004 年日本進路指導協会功労賞、2008 年第一回辰野千壽賞、2012 年日本進路指導協会功労賞

# 先生、道徳って なんのためにや

未来社会に生きる子どもたちに  
私たちが教師が伝えるべき

「道徳」とは、

一体どんなものなんだろう？

先生、

道徳ってなんのためにやるんですか？

教師として、この言葉に向き合い、

それにきちんと答えるために、

「道徳」を考え抜く。

それがこの教科書の出発点です。



# 何を学ぶの？

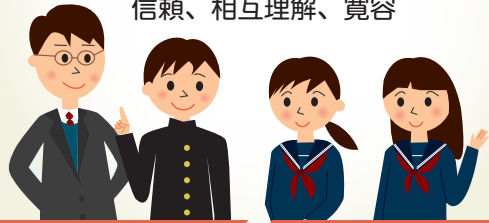
主として

人との

かかわりに関すること

思いやり、感謝、礼儀、友情、  
信頼、相互理解、寛容

を広い視野からとらえ、  
とを通して、  
い生き方についての  
学習の時間です



話し合う

教材の内容を理解し、  
問題意識をもつ

興味・関心  
をもつ



知るために

- ② そのように考えた理由などを添えて伝える
- ④ 一人一人の考えや意見を尊重する
- ⑥ 友達の意見に対する疑問や、さらに聴きたい点について質問する

主として

生命や自然、  
崇高なものとの

かかわりに関すること

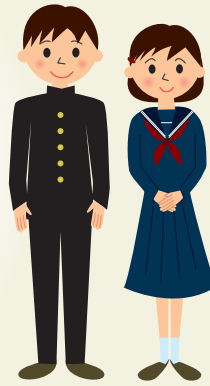
生命の尊さ、自然愛護、感動、畏敬の念、  
よりよく生きる喜び



# 道徳科って

主として  
自分自身に  
関すること

自主、自律、自由と責任、節度、節制、  
向上心、個性の伸長、希望と勇気、  
克己と強い意志、真理の探究、創造



道徳科の授業は、物事  
話し合うこ  
人間としてのよりよ  
考えを深める

自分の考えを広げ、  
深め、発展させる



自分を  
見つめる



みんなで考え、



主として  
集団や社会との  
かかわりに関すること

守法精神、公德心、公正、公平、社会正義、社会参画、  
公共の精神、勤労、家族愛、家庭生活の充実、  
より良い学校生活、集団生活の充実、郷土の伝統と文化の尊重、  
郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、  
国を愛する態度、国際理解、国際貢献



多様な考えを

- ① 自分の考えを持ち、積極的に発言する
- ③ 友達の話をしっかり聴いて受けとめる
- ⑤ 自分の考えと比較しながら聴く

# 目次

◆ 未来社会に生きる子供達の道徳性の育成を目指して	6
表紙について	4
道徳科って何を学ぶの？	2
監修者より	2
◆ 障害者差別解消法を学ぶ	9
生き方は自由ということを知る	8
いじめを許さない心を鍛える	10
情報モラルを守る態度を身につける	12
キャリア教育の視点から生き方を探る	14
◆ 伝統と文化、他国を尊重する心を育む	16
自然、生命の連続性、その尊さを知る	17
道徳的価値を基盤とした価値観の多様性と出会う	18
◆ 授業づくりサポート	22
「考え、議論する」道徳授業ができる	22
◆ その他のオリジナル教材	24
カリキュラム・マネジメントを支える	26
魅力あふれる人物教材	27
◆ 主な地域事例	30
◆ 内容項目別教材一覧	33
◆ 教師用指導書のご案内	34

## 表紙について

子供たちの「未来」は、「現在」でどのような選択をするか、「過去」にどんな出会いをしてきたかによって創られると考えています。過去から現在まで受け継いできた伝統や文化の写真を上段に、下段には現在から未来へとつながる新しい技術の写真を掲載しています。



中学校3年  
生き方を創造する



中学校2年  
生き方を見つめる



中学校1年  
生き方から学ぶ

これから必要とされる「道徳性」

未来社会に生きる

子供達の

道徳性の育成を目指して

これから大人になる子供達には、  
「これから必要とされる道徳性」の育成が  
必要だと考えました。

人間のよさを  
受け入れられる  
豊かな心

よりよい生き方に  
つながる的確な判断力

道徳的諸価値を  
実現しようとする  
意志と態度

自己の判断の基準となる道徳的価値観の形成

# 生き方は自由ということを知る

多様な個性を持つ個人が、社会において自立して生きていくための基礎を培いながら、道徳的価値についての理解を基に、物事に対し、多面的、多角的に考え、よりよい生き方について話し合うことができます。

その一例として、LGBT（性的少数者を限定的に指す言葉）の問題を取り上げています。一人一人の個性と、その各個人の有する能力をいかに伸ばしていきけるかについて考えを巡らすことができる内容になっています。

友達の詩 作詞・作曲 中村 甲

触れるまでもなく先の事が 見えてしまうなんて  
そんなつまらない恋を 随分続けて来たね

胸の痛み 直さないで 別の傷で隠すけど  
簡単にはれてしまう どこからか流れてしまう

手を繋ぐくらいいい 並んで歩くくらいいい  
それすら思ういから 大切な人は友達くらいいい

寄り掛からなけりや 側に居れたの？ 気にしてないければ  
離れたけど 今更… 無理だと気付く  
笑われて 馬鹿にされて それでも憎めないなんて  
自分だけ責めるなんて いつまでも 情けないね

手を繋ぐくらいいい 並んで歩くくらいいい  
それすら思ういから 大切な人が見えていれば上出来

忘れた頃に もう一度会えたら 仲良くしてね

手を繋ぐくらいいい 並んで歩くくらいいい  
それすら思ういから 大切な人が見えていれば上出来

手を繋ぐくらいいい 並んで歩くくらいいい  
それすら思ういから 大切な人は友達くらいいい

友達くらいが丁度いい

2年-P.68 友達の詩

9

## だから歌い続ける

「本当は男なんだ、男として生きるのが  
がふさわしい。」

「いや、女として生きるべきだよ。」

私は、常に心と身体がばらばらとい  
う、「性同一性障がい」であった。

小さいころから歌うことが大好きだ

った。歌が好きな母親の影響かもしれ  
ない。TVの歌番組を見て、アイドル  
歌手の振り付けをまねて歌ったりし

ていた。歌手になろうと小学校の  
ころから思っていた。ただ、歌が好き  
な理由はそれだけではなかった。

男なのに女の子のようなことをして、  
学校ではほとんどの男子にいじめられ、  
思いついたくもないひと言を毎日

15

10

5



2年-P.64 だから歌い続ける



# 障害者差別解消法を学ぶ

2016年4月に施行された、「障

害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）。その条文では、障害のある人からの求めに応じて、負担になり過ぎない範囲で、「合理的な配慮」を行うように定められています。

ここで重要なのは、教育現場における「合理的配慮」の提供が、障害のある生徒と、障害のない生徒が共に学ぶ「インクルーシブ教育」の理念に基づいているということです。

本書では、生徒が障害のある子供たちの立場や視点を理解して、自然に受け入れられる姿勢を育むことができるような工夫がなされています。

## 2年-P.96 こんなとき、どうしたらいいの？

**事例1**  
赤字ブロックはあるが、ブロック上に自転車や歩輪が置いてあり、通行できない。  
（視覚障害者）



**事例2**  
女性向けの障害者用駐車スペースに、車椅子マークのない車が駐車しており、駐車できない。  
（車椅子利用者）



**事例3**  
車椅子に乗って、スーパーで買い物をしていると、周りの人がおどろき顔をする。  
（車椅子利用者）



**事例4**  
コンビニのコピー機を使おうと思ったが、操作パネルの位置が高くてできなかった。  
（車椅子利用者）



平成28年4月に障害者差別解消法は施行され、その中で、差別解消措置として、行政機関などについては、「不当な差別の取り除きの義務」「合理的配慮の提供義務」が示されています。障害者が人とならぬが、差別されることなく、お互いを尊重し、共に安心して暮らすには、どうしたらよいか考え、話し合みましょう。

買い物などで情報が不足しているため、目的が果たせないめぐみさん



近所のめぐみさんは、お菓子を野菜を買い、スーパーへ行きまして。はじめに、お菓子を取り置きしました。ところが、惣乳の整理が早くて、惣乳が足りません。惣乳売り場に行く、新しい惣乳が出てあり、「食べてみたい」と思いますが、袋の方分かりません。店員に聞く、「そこ書いてあります」と言われました。めぐみさんは、返ってしまいました。「どうしたら、いいの……」

考え話し合ってみよう  
して決めるよ

めぐみさんを見かけたら、あなたはどうしますか？ また、周りの環境で、改善できることはありませんか？

こんなとき、どうしたらいいの？

ニュースで討論

考え、話し合ってみよう  
そして、深めよう



・ニュースを読んで、あなたはこう思いますか。  
・差別や偏見のない社会の実現のために、一人ひとり何ができるでしょうか。

**ゆうた**

「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**しおり**

「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**けんた**

「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**さくら**

「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**ゆうた**

「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

「討論」  
「支え合いは当たり前」



**ゆうた**  
「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**しおり**  
「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**けんた**  
「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

**さくら**  
「障害者差別解消法」を勉強して、自分たちでできることをしたいです。

3年-P.88 ニュースで討論「支え合いは当たり前」

**「障害者差別解消法」**  
平成28年4月に施行された。不当な差別を禁止し、「合理的な配慮」をできるように義務づけている。「合理的な配慮」とは、例えば、車いすを利用する人に建入り口に段差スロープを設置すること。負担が過重にならない範囲で、障害者の要望に対応しないといけない。

# 道徳の質的転換によるいじめの防止

# いじめを許さない心を鍛える

中学校3年間、そしてそれからの人生において、いじめや不正に負けることなく、決して許さず、対応していく道徳性を育てます。

「いじめを許さない心」の根底には、生命を尊ぶ態度が不可欠です。生命とは何か、その尊さを守るためにはどのように考えればよいかなど、生命尊重への学びをより深める教材を多数用意しました。また、本書全体で「正義」「寛容」「人権」「人間愛」など、さまざまな教材の主題で「いじめを許さない心」の育成を目指しています。

## いじめをなくす・生命を尊ぶための教材

1年	P.47	いつもいっしょに
	P.104	プロレスごっこ
	P.162	過去からのメッセージ
	P.166	誰かのために
2年	P.154	コンスタンチン君 命のリレー
	P.160	キミばあちゃんの椿
3年	P.150	ひさの星
	P.160	いのちの絆
	P.174	いつかは言いたい二度目のごめん

## いじめを正面から取り上げている教材

プロレスごっこ

「おい上田、プロレスごっこしようぜ。」

休み時間、ぼくが隣の席の上田君と話をしていると、川野君と山下君がやってきて、強引に上田君を教室の後ろへ連れていった。

川野君は、「一発大きな体スボープが得意、力も強い。」

「ぼくが、レフリングだろ。試合開始のゴング、カーン。」

山下君が合図をするので、いきなり川野君は上田君の首に腕を絡めてきた。

「痛い、痛い、ギブ、ギブ、ギブ。」

上田君はもがきながら、川野君の腕をギンギンとたたいた。

「そんな早うにギブアップせんと、おまえも反撃せえや。」

山下君がにやにや笑いながら声をかけている。

教室にいるみんなは、「またどこでいっしょに、あまり気じめる様子ない、川野君は、さらに投を付けている。苦しそうな顔で、「ギブアップ」を繰り返している上田君は、ぼくの方を見ていた。チャイムが鳴ったとたん、川野君は、「おまえ、弱いなあ。」

とつぶやいた。真赤な顔をした上田君は笑っていた。

次の日からしばらく、上田君は学校を休んでいた。

ぼくは、気になって上田君の家に話をした。

お母さんが出られるので、休んだ理由を聞く。

「前からしんじい言うてね。ところで、学校で何かあるの。」

「……いやあ、元気に遊んでいましたけど……。」

と、ぼくは答えた。

上田君が久しぶりに登校してきた。川野君は、「何で休んだとたんや、おままだらへんとおもしろくないわ。」

とつぶやいて、いつものようにプロレスの技をかけた。

その日は、上田君といっしょに帰った。

「病気が治ってよかったな。」

「うん。」

上田君は、うつむいたまま話をした。

しばらく熱たまま歩いてたが、突然「はく、あまりプロレスしたくないや。」とつぶやいた。

12

プロレスごっこ



105
104

## 生命を救う教材



19

## コンスタンチン君 命のリレー

もう、助からない

北海道の北の端、稚内から北へわずか四十三キロメートル。宗谷海峡をはさんで、大きな島がある。サハリンだ。人口は全島で約五十万人。その島の州都ユジノサハリンスクで、事故は起きた。

ユジノサハリンスクの集合住宅に、若い夫婦が住んでいた。結婚して四年目のスコロブイ・ユヌイ家だ。看護師をしている妻のタリーナさん（当時二十六歳）と運転手の夫のイーゴリさん（当時二十六歳）、二人の間には、三歳になる一人息子、コンスタンチン君がいた。

平成二（一九九〇）年八月二十日、午後七時半ごろ、タリーナさんは、夕食の支度に追われていた。コンスタンチン君は、家の中で、一人であそんでいた。

「ママ、怒らないでね」

15

10

5

2年-P.154 コンスタンチン君 命のリレー

## 生命を守る教材

19

## いのちの絆

大石邦子さんは、二十一歳のとき、バスの事故にあり、左半身麻痺の身となった。苦しい体験の中で得た「生命の尊厳」への思いを綴っている。

私なんて生きてたっつ

一人の女子高生が訪ねてきた。私の講演を聴いてくれたよう、何か話してもたのしそうと思っていたが、十分たつても、二十分たつても、二十分たつても、浅く椅子にかけたまつむわいていて、コーヒーをすすめても口にもせず、膝に手をおいたままじっとしていた。少し顔は青ざめて、足元の、ふつうの高校生である。どうしたのか困ったが、何やら思いつめているふうもあって、彼女の緊張が和らぐのを待つほかない心を決めたとき、低い声で、しか「一言一言、言葉を遣うように、彼女がこう言った。

「自殺は、どうして悪悪なんでしょうか。誰かを傷つけるわけじゃないんです。私なんか、生きてたつて……」

とついに言葉がでなかった。彼女は投げやりと言っているのではなかった。時折唇がみみ、そのたびに深いくはが胸に現れた。言葉をおのりこんできた彼女のためらいが、私にはよくわかった。どんな顔を凝らしているのか、言葉をおのりこんできた彼女のためらいが、私にはよくわかった。

でも私はあえて、次の言葉をうながしはしなかった。

出会った人は大事故にたい

彼女がふたたび何を言いかけたか、涙がこぼれていた。「言いくないことは、わりしないほうがいい。私にも死にたくらなことが何回もあるのでも、死ねなかつた。いまだに、誰にも話せないうて苦しんだこともある。だけどね、私は、今ほんとうにあなたに強弱つて、つて叫びたい気持ちなの。私は、あなたのこと日まて全然知んなかたけを、あなたは、私を助けてくれた。うれしかったわよ。人つていうのは、出会うべくして出会うんだと思われの、どんなに出会いたかと思つても、出会えない人は、出会えないものよね。だからこそ、出会った人は大事故にしたいつて、私思つて、……。……」

「でも、どうして強弱つて、言うのですか、死んではいけない、言つてですか。私の痛みを知らないのに……」

「そう、でも、きっと生きてるつて信じているから、どんなに生きたかと思つても、死ぬときは死ぬんだから、それね、たしかにあなたは誰のことも直接的には傷つけないかもしれないけど、（いのち）つてさういうのと、ちよつと違うような気がするの……」

私はそう言いながら、遠い日の自分を思い出していた。



3年-P.160  
いのちの絆

161

160

## ネット社会の人間関係形成

# 情報モラルを守る態度を身につける

昨今の生徒の人間関係は、家族や友達といった実際に触れ合う人だけではなく、インターネットを通じて日本中、世界中に広がっています。そこには多くの楽しさと便利さがある一方で、その利用で悩んだり、負担に感じることも多くなっています。生徒にとって、これからの人生で決して欠くことのできないインターネット・コミュニケーションについて、自分ごととして話し合うことができる教材を掲載しています。

11

## グループ

スマートフォンで着信音が響いた。勉強をしていた加奈子はすぐに無料通話アプリのアイコンをタッチして、所属しているダンス部のグループのメッセージを確認した。



加奈子は慣れた手つきで、素早くメッセージを返信する。  
 明日は部活動が休みなのだが、自主的に集まって練習しようという、一年生のリーダーをしている真亜子からの誘いだっただが、加奈子に続き、ほかのメンバーも、確認したことを知らせるメッセージがまた今夜に続いた。

1年-P.98 グループ

9

## 言葉の向こうに

夜中に、はっと目が覚めた。すぐにベッドから起き出してリビングへ降り、パソコンの電源を付ける。画面の光が部屋の片隅にまぶしく広がった。

私は、ヨーロッパのあるサウザンアイランドのファン、特にエストライカーのA選手が大好き。ちよと全項、向こうでやっている最後の試合が終わったはず。ドキドキしながら試合結果が分かるまで待たされた。やった、勝った。A選手、ゴール決めて、私もガッツポーズ。

思わず声が出てしまった。大声出したら家族が起きちゃう。さっさと一人でガッツポーズ。みんなも知ってるかな。いつものように日本のファンサイトへアクセスした。画面には「おめでとう」の文字がめぐる。みんな喜んで、賑々しく胸がいっぱいになった。私と同じ、おめでとうと書き込んで続けた。

(A選手やったよ、ずっと応援してるんだ。ニュース見ない)

すると、すぐには返事がなかった。それなら、観客席で撮影してくれた人の名前をよ、は、ら、こ、こに！

(Aのファンサイトへ) 観客席で撮影してくれた。感動する！

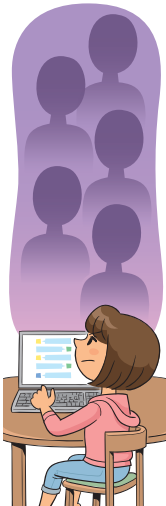
画面が空っぽの如くおどろいて、私は夢中で書き込んだサポート次に見に行った。

学校でサッカーの話をすると、ヨーロッパサッカーのファンは男が多い。私がA選手から、今日は誰かのファンサイトを見た。家へ帰ると、食事用意して待っていた母に、「ちょっと待って。」

と書いて、パソコンに向かった。観客席のファンサイトか、もっと読んで読めるかな。楽しみ

(Aは最後の試合、あのゴール前は、アルだよ、すんや、や)

聞いた画面から飛び込んできた言葉に、胸がどろっとした。何、これ



2年-P.74 言葉の向こうに

# 一通のメッセージから始まる物語

そのメッセージは加奈子からやってきた。

「葵<sup>あおい</sup>って勇太に告白してダメだったらしいね。元氣出して！」

しばらく画面を見つめたままになってしまった。どういこうと？ 私が勇太に告白したことも、ふられたことも、加奈子に言っていない。それなのに、何で加奈子が知っているの？ 考えられるのは一人しかない。私は加奈子へ返信せず、心当たりのある人物にメッセージを書いた。

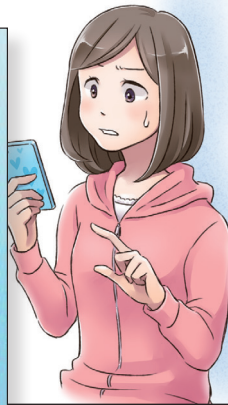
「なんて加奈子に勇太のこと言うの。信じられない。裏切者。」

しばらくして返事がきた。

「何言っているの。私、誰にも言っていないよ。」

「嘘つき。そんな見え透いた嘘をつかないで。」

「嘘なんてついてない。どうして親友の私が、葵の秘密を他にばらす必要がある「それを聞きたいのはこっちの方。沙織<sup>さおり</sup>は私のこと裏では面白がっていたんだね



3年-P.58 一通のメッセージから始まる物語



## SNSで広がったボランティア活動

平成30年7月。台風7号と活発な梅雨前線の影響により、豪雨が西日本を襲い、河川の氾濫、浸水害、土砂崩れなどが発生しました。負傷者は400名以上、死者は224名、住家の全壊が6800棟を超える甚大な災害が起こりました。

岡山県総社市でも、7月5日から7日にかけての豪雨で河川が決壊、堤防を越水することで国道が冠水し、4名の方が犠牲となりました。市内全域に緊急避難指示が発令されていた6日深夜、冠水したことが原因とみられるアルミ工場の爆発事故も発生するなどの大災害に見舞われました。

雨足も弱まりました7日午後、SNSを通じて高校生から市長に「1通」のメッセージが届きました。

「これを見る暇はないかもしれませんが…。私たち高校生に何かできることはありませんか？ 配給の手伝いなどはできませんか？ 何か出来るかもしれないに家で待機しているだけというのはとても辛いです。子どもだから、出来ることは少ないかもしれませんが。でも、ほんの少しでもできることはないですか？」

このメッセージを受信した市長は、「総社市役所に手伝いに来てください。」と1分後に返信しました。

このやり取りをきっかけに、さまざまなSNSを通じて、ボランティアをするために市役所に行く、というメッセージが拡散しました。

「市役所に行こう」、「ふるさとを守ろう」、「何でもやります！現地に行きたい！」

雨の上がった8日朝には約700人、翌9日には約1000人の中高生が市役所に集まりました。集まった中高生たちは、泥のかき出しや、食事の配布、支援物資の仕分けなどのボランティア活動にあたりました。この出来事は、さまざまなニュースに取り上げられ、この出来事をきっかけにボランティアの輪がさらに広がり、復興に向けての大きな起爆剤となったのです。



▲ ボランティア活動に集まった若者たち



▲ 配給のボランティア活動

写真提供：総社市

1年-P.103 SNSで広がったボランティア活動

## ネット将棋

「ネット将棋」は、インターネットを通じて将棋を遊ぶことができる。将棋のルールや歴史、そしてネット将棋のメリットやデメリットについて詳しく解説する。また、将棋の文化や楽しみ方についても触れる。



2年-P.16 ネット将棋

発達段階を踏まえ、他領域につながる教材

# キャリア教育の視点から生き方を探す

中学校の3年間は、心も体も大きく成長する時期です。その発達の段階を考慮しつつ、学年間の繋がりも重視した教材を採用しています。1年生は、自己を見つめ、自己の個性、能力、適性等について教材の主人公を通して考えさせます。2年生では、自己啓発をテーマに、そして3年生で自己実現に向けて、現代社会に想定される葛藤を通して道徳的問題に向き合わせます。これは、道徳的価値の理解を基に、キャリア教育の視点からキャリア発達段階の連続性に考慮したものです。また、併せて特別活動における「一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習との関連を意図した内容となっています。

## 1年 自己理解

1年-P.21 「パーソナリティー」

パーソナリティー

3

## パーソナリティー

駅の切符売り場で案内をしている人型ロボットがいた。この町に来る観光客の質問に答えて、道案内をしている。「お調べします。」

ロボットがしゃべる度に、若い女性の二人組が歓声を上げていた。

僕は、その様子を感じしながら遠巻きに眺めていた。

僕は、我に返って、祖父の住む町の最寄り駅までの切符を受け取るためにみどりの窓口に急いだ。父が事前に予約しておいてくれたのだ。

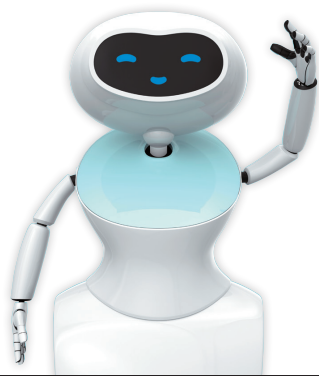
夏休みに入って、部活が休みになった田舎の三日間を父の田舎で過ごすことになっていた。商店を営む両親は仕事が忙しく、この時期は身動きがとれない。けれども、祖母は僕が行くのをいつも楽しみに待ってくれている。

中学生になって、部活も勉強も忙しくなり、今年からは、行くのをやめようかとも思ったが、祖父母が喜んでくれる

15

10

5





伝統文化遺産の継承と異文化理解

# 伝統と文化、他国を尊重する心を育む

郷土の伝統と文化を学ぶことから、地域に尽くしてきた人たちへ感謝の気持ちと郷土に対する誇りを育て、自らが主体的に郷土の発展のために取り組む心を育みます。

2年『道』の文化』では、柔道や茶道、華道などの『道』の世界を通して、長い歴史を通じて培われ、大切にされてきた作法に込められた精神を理解することから、より深く礼儀の意義を学びます。また併せて、他国への視線として、2年「白菊」を掲載しています。辛く悲しい歴史的事実に向けての慰霊の花火は、国際協調の精神を育むうえで大切な心を育みます。そして、3年「小泉八雲が見た出雲の国」では、小泉八雲という外の視点から、彼が愛した日本の景色の美しさや情緒に触れ、異文化と向き合うことの意味について考え、話し合います。

伝統と文化、他国を尊重する心を育む教材

1年	P.144	雄司の自慢
	P.148	環境先進国江戸
2年	P.128	よ～いや、さ～
	P.133	受け継がれた夜
	P.148	白菊
3年	P.126	なせば成る
	P.130	不揃いでなくちゃあかんのや
	P.134	小泉八雲が見た出雲の国

## 銅像が教えてくれたこと

以前、一月ほど、出向で外務省へと勤めていました。外務省の敷地内には、ある一体の大きな銅像が建てられています。銅像になっている人物は、小学校の社会科教科書（歴史）で習った治外法権の撤廃に成功した「陸奥宗光」です。

「そういえば、白井は和歌山出身じゃなかったっけ？」

仕事仲間の出口さんが突然、私にそう聞きました。

「ああ、そうだけど、それがなにか。」

「いやいや、それだったら、毎朝陸奥の銅像に会った。」



1年-P.141 銅像が教えてくれたこと

## 「道」の文化

「ヤア！」

M中学校柔道部の卓也は、今日も豪快な技を見せた。乱取りの稽古で、相手と激しく攻防する。ほとぼしる汗と気合いの入った掛け声が道場に響く。

「ヤッター！」

卓也は、背負い投げが決まった喜びをあらわにして、ガッツポーズをとった。それを見た顧問の黒島先生が、注意した。

「卓也、今何をしたあ！」「礼に始まり、礼に終わる。だろ。」

（また、やってしまった……）」

卓也は心ななかつぶやいた。

部活動が終わると、卓也は、素早く着替えて駅に向かった。電車に乗ると、近所と同じ学年の友美に会った。



二宮金次郎



3年-P.184 天地と共に

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義について考え、自分自身もまた多くの生命によって生かされていることと「誰かのために」では病を患いながらも希望を持ち最期まで子どもたちと懸命に生きた女性の話から互いに支え合い、生きていることとかがえなさについて考えます。

さらに3年「天地と共に」では、二宮金次郎の生涯を通じて、自然に対しての畏敬の念や、人を信じ人間の弱さや醜さを共に克服していくこととする心情を高めます。

生命や自然、崇高なもののかかわり  
**自然、生命の連続性、その尊さを知る**

天地と共に

「ああ、今年も稲刈りの時季が来たねえ、あんたあ。」

妻のやさしい感慨深げな声に、作業の手を止めた清七は、かがんでいた足腰を伸ばし、辺りを眺めた。夏の終わりを告げる初秋の風は、野良仕事の頬に心地よく、一面に広がる黄金色に実った稲穂の波は、ほのかに芳しい稷の香を放つ。

大きな深呼吸をひとつすると、満たされた思いが、体中、いや、手足の末端にまで行き渡っていく。「ほんに、有り難いことよのう。」

水路を挟んだ稲穂の向こうには、稲刈りの支度を始めている幼なじみの重吉と女房の姿が見える。荒れ果てたこの村の土地を開墾し水田として整備してから、今年で三度目の収穫の時を迎えた。ここに至るまでには、十年の歳月を要していた。年々、米の収穫高も増え、ようやく村人の暮らし向きは安定してきた。清七は、荒んだ生活の真只中にいた以前の我が身を思い起こした。今、こうしている自分や仲間たちを、そして、この村を救ってくれた生涯忘れることない人物と、ともに歩んできた試練の道のりの記憶がよみがえる。収穫前の一面の稲穂を目にする度に、言い尽くせない感情が一気に沸き溢れてくるのだ。

かつて、小田原藩松平領内のこの村は、ひどい荒れようだった。痩せた土地には、大きな木の根や石が埋まり、とても稲の作付けができる状態ではなかった。村人達の多くが、貧困に窮し、身も心



「いのち」のつながり

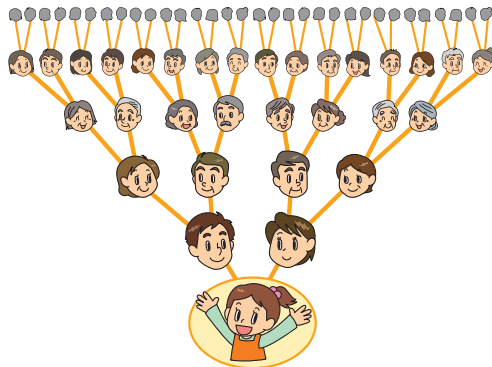
私たちが今日あるのは、自分自身を直接生み育ててくれた父母や家族のおかげだけではなく、自分一人ひとりを生んでくれた父親と母親にも、それぞれに両親がいますから、自分にとっては「祖父母」は4人です。その祖父母もそれぞれ両親を持っており、「曾祖父母」は8人。ここまで数えただけでも、父母・祖父母・曾祖父母の合計で少なくとも14人が、自分の「いのち」を支えていることになります。

このようにして30代さかのぼると、計算上は累計で21億人を越える祖先が、自分の「いのち」をつなぐために存在していたこととなります。仮に1世代を30年と考えると、30代前は約900年前、日本でいえば平安時代の終わりごろです。

今日にいたるまでの間には、戦乱や災害、飢饉などの困難が、いくど訪れたことでしょうか。私たち祖先は、さまざまな苦労と努力を重ねてその時代を生き抜くとともに、次の世代を生み育ててきました。

今を生きる私たちの「いのち」と「心」は、はるかな昔からそのようにして、親から子へ、子から孫へと受け継がれてきたものなのです。

(出典) 公益財団法人モラロジー研究所「ニューモラル」2012年5月特別編集号



1年-P.169 「いのち」のつながり

新たな価値観から育まれる道徳性

# 道徳的価値を基盤とした 価値観の多様性と出会う

「道徳的諸価値」と真剣に向き合うことが、価値観の多様性をしっかりと受け入れる寛容さを育みます。その目指すところは、生徒一人一人が、国境や文化を越えた「自己の判断の基準となる」道徳的価値観を形成していくことです。そのためには、道徳的価値を含む様々な問題に向き合い、考える経験を積み重ねていくことが大切です。その過程は、「良心」の形成に繋がりが、地域や社会と主体的に関わろうとする未来を見据えた行動へと発展していくものと考えています。

この心によって、地域社会や国、そして世界に主体的に関わる意識を生み、これからの未来を見据えて行動することに繋がっていくと考えています。

## 人権

込められた想い

人は違う。  
それでいい。  
そこから始まる。



人はみんな、誰一人として同じではなく、それぞれに個性をもって、かけがえのない人生を歩んでいるのです。それに関わらず、今の社会にその「違い」を十分に活かせる仕組みができていないのは、とてももったいないことだと考えています。

生き方も、幸せも、決して一つではなく、人それぞれ。だからこそ、別々の個性が出会い協力し合うことで、想像できなかった未来もきっと生まれてくる。そんな考えを世の中すべての人の当たり前にしたい。

ただ、そんな未来を実現したくても、人と違っていることで苦労や悲しい思いがしかなかったら、なかなか希望を持つことはできません。

大切なことは、一人ひとり違うことを前提に、目の前の「そのひとり」の挑戦をせいっぱい応援すること。そして、

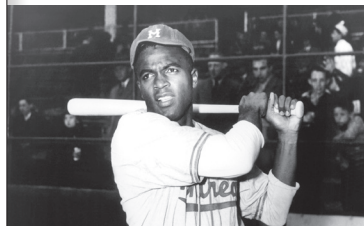
「人と違うことが喜びや幸せにつながった。」

「人と違って良かったんだ。」

そう感じられるような機会を、社会のあちこちにつくっていくことです。

学ぶ場面においても、働く場面においても、生活場面においても、一人ひとり違っていることが前提となっている社会。ありとあらゆる場面で「人との違いで苦しまない」、それどころか、むしろ「人との違いが力になる」そんな経験が当たり前に行えるようになれば、みんなが自分の個性に誇りを持ち、自分らしい道を歩んでいける社会が実現できると考えています。

(出典)  
長谷川敦弥 (監)、野口晃晃 (監修) 『発達障害の子どもたち、[みんなと同じ] にならなくていい』  
(SBクリエイティブ、2016年)。一部抜粋。



Everett Collection/アフロ提供

一九四七年、黒人選手としての初めてのメジャーリーガーが誕生した。ブルックリン・ドジャースのユニフォームを着たジャッキー・ロビンソン(一九一九〜一九七二)の人だ。当時のメジャーリーグの高くて厚い人種差別の壁を、初めて打ち破った選手である。当時のアメリカには、人を肌色で差別するようなきまり(州法)がつけられていた。例えば、レストランでは、白人と有色人種が同じ部屋で食事をしてはいけない、電車やバスは人種ごとに席を分けなければならない、といった法律である。白人と黒人の交際や結婚も許されてはいなかった。そうした時代のメジャーリーグは、白人選手のみが活躍する場所だった。

11

## 永久欠番42

2年-P.69 人は違う。それでいい。

# 人間関係

3年-P.78  
自分が好きですか？



## 自分が好きですか？

私たちは、一人として同じではなく、姿はもちろん、それぞれが違う見方や感じ方をしています。異なる個性を持った者どうしが手を携えて生きているのが私たちの社会です。

そのためには、相手がたとえ自分と違う見方や考えを持っていたとしても、まずその立場を尊重し、受け入れることが、とても大切なこととなります。違いをしっかりと認識した上で、話し合いや交流をすることによって、お互いの理解をより深めることができるのです。

ここで重要なのは、自分の考えや意見をしっかりと持ち、相手に伝えるということです。「受け入れる」ということは、自分を失くして、ただ相手のことを無条件に肯定することではありません。まずは、しっかりとした「自分」を持つこと。これが豊



## スペシャルオリンピックス

### スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに様々なスポーツに触れる機会、そしてその成果を発表する競技会を設けている国際的なスポーツ組織です。活動に参加する「知的障害のある人達」を「アスリート」と呼び、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を開催しています。

1968年、故ジョン・F・ケネディ氏（アメリカ合衆国大統領）の妹ユニス・シュライバーさんが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」を設立。イリノイ州シカゴで「第1回スペシャルオリンピックス国際大会」が開催されました。4年に1回開かれる世界大会は、2019年に開催された「スペシャルオリンピックス

# 福祉

2年-P.152 スペシャルオリンピックス



## 3Rってなあに？

いままで「ゴミ」として使っていたものを、「資源」としてくり返し使うことが必要で、「使い捨て型社会」から「循環型社会」に変えなければなりません。そのためには、「3R」活動を積極的に広げていきましょう。

### まずは 1.Reduce (リデュース)

#### ゴミも資源ももたら減らす

- ・包み紙などの容器包装はできるだけ少なくしましょう。
- ・壊れにくく、長く使える製品を買おう。



### 次に 2.Reuse (リユース)

#### くりかえし使う

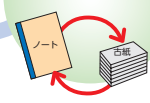
- ・リターナブル容器（牛乳びんのようにお店で回収し、洗って再び使えるようにする容器）のものを買いましょう。
- ・いらなくなったものは、ほしい人にゆずったり、リサイクルショップに売らしましょう。



### そして 3.Recycle (リサイクル)

#### 資源として再び利用する

- ・資源を分別し、リサイクルしやすくしましょう。
- ・再生紙・ノート、リサイクルされた製品を購入しましょう。



### 「もったいない行動」をしよう！

あなたや、あなたの家族がしている「もったいない行動」にはどんなものがありますか？

20

## ガラスの地球を救え

宇宙宙の暗黒の中に青く輝く水の惑星「地球」。たったひとつの人類の暮らすとき、いや人類ばかりではない、恐ろしく巨大な生物から食われてしまったり、そしてバクテリアにいたるまで、それはもう奇跡としか言いようのない豊かな生命が満ちあふれた地球です。

光と水と緑の大地に育まれて、なんぞ数知れぬ生物たちが、この地球上での生命を輝かせてきたことでしょう。

四十六億年というとても長い自然の歴史が、ぼくらの地球の年齢です。しかし、地球上に最初人類が誕生してからは三百万年しかまだ経っていません。

つまり、人間なんて、地球の歴史では新参者といえることになってしまいます。それが、どういふわけか、いまやわが地球で、万物の霊長と自認しつつ、欲望のおもむきままに自然を破壊し、動物たちを殺戮しつづけています。

ぼくが言うまでもなく、それはとっくに大問題になっています。しかし、大問題として問はれるなら、どうにもならぬでしょう。

# 環境

2年-P.166 ガラスの地球を救え

3年-P.21 3Rってなあに？

「二通の手紙」は、1970年代前半に書かれた手紙の断片を、現代の文脈で再構築したものである。

「二通の手紙」は、1970年代前半に書かれた手紙の断片を、現代の文脈で再構築したものである。この断片は、当時の社会状況や個人の感情を反映している。手紙の断片は、現代の文脈で再構築されたものである。この断片は、当時の社会状況や個人の感情を反映している。手紙の断片は、現代の文脈で再構築されたものである。この断片は、当時の社会状況や個人の感情を反映している。



# 遵法

2年-P.86 二通の手紙

秀明は、初めてのボランティア活動に参加した。最初は緊張したが、徐々に慣れていく。ボランティア活動は、社会貢献の一環として行われる。秀明は、初めてのボランティア活動に参加した。最初は緊張したが、徐々に慣れていく。ボランティア活動は、社会貢献の一環として行われる。秀明は、初めてのボランティア活動に参加した。最初は緊張したが、徐々に慣れていく。

2年-P.104 秀明の初ボランティア

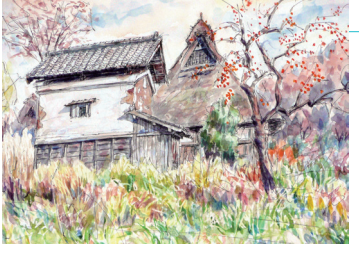
## 3年-P.99

「他人ゴト」から「自分ゴト」に

# 生命の連続性

## 過去からのメッセージ

「過去からのメッセージ」は、過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。



「過去からのメッセージ」は、過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。過去の出来事や人物を通じて、現代の社会や個人に与える影響を考察する。

1年-P.162 過去からのメッセージ

# 社会参画

「他人ゴト」から「自分ゴト」に



平成27（2015）年6月に、日本の国会で、選挙権年齢がこれまでの20歳以上から、18歳以上に引き下げられることが決まりました。皆さんも3年後には、国や、自分が生活する地域の行方を決める一票を投じる権利を持つことになるのです。それでも数年はありますので、ほとんどの人にとって、まだまだ政治は、「他人ゴト」だと思います。テレビや新聞のニュースで報道されていることを、なかなか自分に関係するものと実感するのは難しいかもしれません。しかし、外国では皆さんぐらいの年齢の子供たちが、「模擬投票」をすることは、珍しいことではないのです。たとえばスウェーデンでは、中学生、高校生が投票できる「学校投票」が、実際に大人が行う選挙の約1ヶ月前に、数十万人を対象にして実施されています。この結果は全国で集計され、新聞やテレビでも報道されます。アメリカでも、2016年にトランプ氏が当選して話題となった大統領選挙のたびに、

友達の考えが聞きたい



将来成功したい!

本書の執筆には現場の先生方が多く関わっており、生徒の率直な反応や意見を反映させています。教室で自然と議論が巻き起こるような教材となるよう吟味しました。

なんでルールを守るの?



# 授業づくりサポーター

道徳性育成に向かう「主体的・対話的で、深い学び」

心について勉強したい

生きるうえで大切なことって何?



なぜ生命が大事ななの?

道德っておもしろい！

# 「考え、議論する」道德授業ができる

本書の教材は、教室で自然と議論が巻き起こるような仕掛けを「教材内容」と「問い」に施してあります。

中学生の発達の段階では、生徒自身が生きる社会や人間関係が、飛躍的に広く複雑になっていくことから心理面での成長の一方、情緒的に不安定になる場合もあります。また、人間関係の広がりから、日常生活においては、「道德的諸価値」がぶつかり合うことを多く経験していくこととなります。そのためにも本書は、答えが1つではない道德的な問題を、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、「考えることができる」「議論することができる」ように工夫をしています。

価値観の多様性をしっかりと受け入れる寛容な心を育む教材例は、「リョウとマキ」シリーズ、「二通のメッセージから始まる物語」「パトリリーダー」などの教材が該当します。

生徒の思考を揺さぶる問い

パトリリーダー

考え、話し合ってみよう  
そして、深めよう

- ・教室を飛び出していった真人は、どんなことを考えていたでしょう。
- ・パトリリーダーとして何もしようとしなかった自分が急に情けなく思えたのはどうしてでしょう。
- ・「でも……。」に続く真人の言いたいことを考えてみましょう。

「ああ。」あいまいな返事で電話を切ったが、真人は孝の気持ちが嬉しかった。パトリリーダーとして何もしようとしなかった自分が急に情けなく思えた。確かに、自分の役割を認めず嫌なことから逃げていた自分がいた。だからといって男声パートをまとめる自信はない。しかし、少なくとも今日の勝手な行動を謝らなければいけない。孝の言う通りかもしれない、まだ時間はある。でも……。

10

自然と生徒が考えだす仕掛け



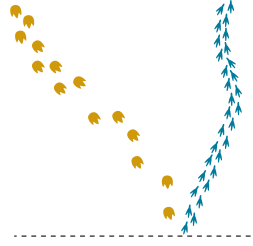
2年-P.13  
パトリリーダー

# 二つの足跡

あしあと

9

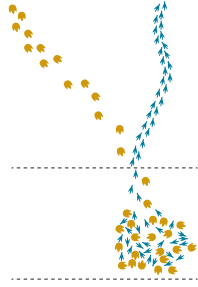
● 恐竜の研究をしているチームがある地層を調べていると、二つの恐竜の足跡らしきものが発見されました。一体どこで何が起きたのでしょうか？



あなたの考え

ほかの人の考え

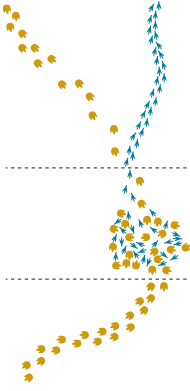
● この後ももう少し掘り出してみました。すると二つの足跡は次のようになっていました。一体何があったのでしょうか？



あなたの考え

ほかの人の考え

● さらに掘り出してみると、このようになってきました。さて何があったのでしょうか？



あなたの考え

ほかの人の考え

(参照) ピーター・M・セング他 (リビデズ直子訳) 『学習する学校——子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する』 英治出版、2014年

議論が巻き起こる  
ワークシート

1年-P.70 二つの足跡

8

# リョウとマキ〜First Love〜

「まったく、めんどくさいよね。女子って……。」  
部活動を終えた帰り道、圭一が口をとがらせて  
言った。

「何かあったの。」

「昨日、保健委員会があったらう。今日担任に  
手はれて説教だよ。」



60

8

# リョウとマキ〜Triangle Zone〜

季節は巡り、俺たちは二年生になっていた。  
インフルエンザにかかった去年の冬以来、ずっと吉岡真希のことが気になっているのは変わらないが、今のところ何も進展はない。あの時、圭一からは告白するよう勧められたが、意気地のない俺には、やはり自分の気持ちを切り出す勇気がなかった。何度か真希への思いを圭一に打ち明けようとした

# リョウとマキ〜Stand by Me〜

時は流れ、俺たちは最上級生になった。

昨年、新人戦で勝利を取ってから、バスケットボールへの情熱は誰かなものになっていった。圭一は、新人戦で優勝した日、俺に宣言した通り吉岡真希に告白したが、真希からは、「めんなさい。」の一言が返ってきただけだったらしい。その後、圭一は、しばしはやけになっていたが、それも東の陣、今は、テニス部の太田彦那に心を奪われている。全く調子のいいやつだ。しかし、俺は、内心は……

あの試合の後、俺は、真希から小さな贈り物もらった。新人戦の翌日、俺の机の中に小さな包みを見つけたのだ。バスケットボールのミニチュアがついたキーホルダーだった。「新人戦、優勝おめでとう。真希」のメッセージカードが添えられていた。

それからというもの、真希とは同じクラスということもあり、俺たちはメールを交換したり、学校ではどちらからもなく話しかけたりするようになっていた。三年生になる少し前、圭一には思い切って俺たちが付き合っていることを話した。それまでの真希への気持ち、圭一の告白を聞いたときの衝



学年間で繋がる  
生徒の日常を  
描く教材

- 1年-P.60 リョウとマキ ~First Love~
- 2年-P.48 リョウとマキ ~Triangle Zone~
- 3年-P.68 リョウとマキ ~Stand by Me~

# 現場の教師達が執筆した教材が多数あります その他のオリジナル教材

本書は、書き下ろしのオリジナル教材が豊富です。学校現場を経験し、中学生の問題や悩み、夢や希望に日々関わっている教師達が執筆した教材になっています。

生徒が興味、関心をもって真剣に向き合うことのできる教材で、よりよい授業づくりをサポートします。

## 現場の声を反映したオリジナル教材

1年	P.21 パーソナリティー P.60 リョウとマキ ~First Love~ P.66 嘉納治五郎先生との出会い P.74 傘の下 P.78 僕じゃないのに	ほか
2年	P.25 ワン・ステップ P.48 リョウとマキ ~Triangle Zone~ P.119 母のアナウンス P.124 15分間のクリーン作戦 P.184 二人の剣士	ほか
3年	P.52 明日への光 P.68 リョウとマキ ~Stand by Me~ P.80 誓い P.105 惣菜屋のおばちゃんと私 P.117 迷わず選ぶ	ほか

6

## 二枚のチケット

中間テストを一週間後に控えた日曜日のことだった。  
窓から入り込む日差しがまぶしかった。いつもなら、もっと寝ていたいと思うのだが、今日ははっと飛び起きた。そして、机の中に入れておいた二枚のチケットを取り出した。そして、下駄にバッグの中に入れてしまった。  
昨日から始めようと思っていた中間テストの勉強は、テレビの誘惑に負けてしまい結局、できなかった。  
「まあいいか。明日からやったって間に合うさ。」でも、今日は、越えなければならぬ難関があった。それは他でもない母の説得だった。僕の頭には怒った母の顔が浮かんできた。  
案の定、下に降りていくと、  
「今日はずいぶん早いね。まさか、中間テストの前だというのに、遊びに行くなんていうことはないわよね。」  
「お母さん、お願い。明日からやるから、今日は行かせて、大切なコンサートがあるんだ。やっとチケット手に入れたんだから。」

15

10

5



1年-P.38 二枚のチケット



# 繁盛のためには

はんじょう

「どうしたらええんかなあ。」

「去年もなかなかバツとせえへんかったしなあ。今年もまいちええんかなあ。えつことゆうたは中学二年生。一か月後に迫った学園祭の出し物について考えている。

「やってくるつもりやけど、なかなかお客さんは来てくれへん。」

去年も、学級の代表として、あれこれ考えて出し物を出したけれどなかなか集まらなかった。去年は「年だったから何もわらないままに学園祭を迎えなければ、今年はずう。去年の悔しさをそのままにしないため、えつことゆうたは今年も学級の代表に立候補した。

「悩んでいてもよあない。そや、放課後にサンおじさんのところへ行こうや。また何か教えてくれるかもしれへん。」

えつことゆうたは、何かアラスで困ったことがあればサンおじさんのところへ行。サンおじさんは、いつもにこにこしていてやさしく、それでいて、何でも知っている人だからである。

「でなことで、困ってるねん。サンおじさん、何かええ案ないんかなあ。」

「うーん、おつやんが中学生だったのは、今から五十年も前やからなあ。それに、今のような学園祭はなかったなあ……。」

「えつやんなあ……。うーん、どうしたらええんやろ。」

「そういうのは、こんな話を知ってるか。この話が、あんたらの役に立つかはわからへんけどな。」

ゆうたが、身を乗り出しました。

おじさんは、「役に立つかはわからへんよ」と、前置きしてから、話し始めました。

「今から四百年前、ここ大阪に渡来した常安という人がおつやんや。大変有名な商人で、その当時、日本中のお米の半分をもつたと言われるような人やった。屋敷は、想像もできないくらいに広く、東京ドームの一・五倍もあつたと言われているんや。なんでそんな金持ちやつたんや？」

「常安はもともとの大金持ちだったかと言われるそうやない。常安は、武家に生まれてるから、商人となったのは成人してからや。つまり、ゼロからのスタートだったんや。」

そんな常安がなぜ成功をおさめたのかというと、大きく二つの出来事が関係しているねん。

ひとつは、豊臣秀吉がある城を建築している時、工事の途中、大きな問題が起こったんや。それは、建物をたてるはずの土壌の一部から大きな石が出てきたんや。その石



2年-P.108 繁盛のためには

# ぼくの留学体験記

高校二年の夏、ついに半年間のアメリカ留学のチャンスが巡ってきた。英語を自由に使って、海外ドラマに出てくるような世界で楽しく生活してみたい！そんなことを夢見ていた。

しかし、英語が好きだからといって留学はそんなに簡単に思えていなかった。想像以上に語学力不足を思い知らされ、夢の留学生活はもろくも崩れてしまった。

とにかく、みんなと仲良くするために常に笑顔でいよう。Always smile. キャンパスで、カフェテリアで、そして寮の中で実行した。誰とでもニコニコあいさつをし、相手の気持ちを害さないために何かあると先回りして Sorry. In case. と一言くせがついてしまった。そういう努力ばかりに気を張り、自分の部屋に戻るとぐったりしてしまい、毎日の疲れがたまっていた。

ある日のこと、寮のホールではテレビ映画を観ている仲間たちがいた。「何とか今の自分の状況を変えたい」という思いから、自分も参加した。しかし、実はその日は日本人の友人と外で食事をする約束をしていたのだ。待ち合わせ時刻まで少しも英語を使って仲良くしなければと思っただのだ。



# スペシャルオリンピックス

## スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに様々なスポーツに触れる機会、そしてその成果を発表する競技会を設けている国際的なスポーツ組織です。活動に参加する「知的障害のある人達」を「アスリート」と呼び、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を開催しています。

1968年、故ジョン・F・ケネディ氏（アメリカ合衆国大統領）の妹ユニス・シュライバーさんが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」を設立。イリノイ州シカゴで「第1回スペシャルオリンピックス国際大会」が開催されました。4年に1回開かれる世界大会は、2019年に開催された「スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ」で第15回目となります。スペシャルオリンピックスでは現在、世界170か国以上で400万人、日本国内では47都道府県で約7500人のアスリートが活動に参加しています。

「オリンピック」「パラリンピック」と違い「スペシャルオリンピックス」と複数形なのは、大会を開催することだけを目的とするのではなく、さまざまなスポーツに関するプログラムを通して、知的障害のある人たちの心身の健康を推進し、その家族や同じ立場のアスリート、そして地域社会との関わりや自己表現の場をつくり出すことを目的としているからです。

## ユニファイドスポーツ

スペシャルオリンピックスの開催プログラムのひとつに「ユニファイドスポーツ」という競技があります。「ユニファイド」とは「いくつものグループが集まって一つのグループになる」ことを意味する英語です。ユニファイドスポーツは知的障害のある人と、ない人がひとつのチームとなって（Unified）、スポーツを通して相互理解を深めていく取り組みです。

チームメンバーは同程度の年齢、競技能力で構成され、練習や大会を通じて同じ経験を共有し合い、達成感や連帯感を深めて友情を育むことで、互いを理解し合い、知的障害のある人となない人が同じ社会を構成する一員として別け隔てなく支え合う社会の実現を目指すことを目的としています。

2年-P.152 スペシャルオリンピックス

3年-P.138 ぼくの留学体験記

# 道徳的価値を中心に据えた学習プログラムづくり カリキュラム・マネジメントを支える

本書は、学習指導要領の内容項目順に教材を配置してあります。「A 自分自身と向き合う」「B 人とかかわり」「C 集団や社会とかかわり」「D 自然や崇高なものとかかわり」の4章立ては、それぞれ学習指導要領のA B C Dに対応しています。これは、教科書の順番に縛られることなく、各地域、各学校の特色や方針によって、自由に各教材を活かしてほしいという意図があります。

## 教材は学習指導要領の内容項目順に配置

本書は、学習指導要領の内容項目に沿った4章立てとなっています。教科書に掲載している順番に縛られることなく、自由に教材を活用してください。

## 目次

今日からはじまる……………	6
道徳科って何を学ぶの？……………	4
教科書の使い方……………	2
<b>A 自分自身と向き合う</b>	
1 銀色のシャープペンシル……………	8
2 命をつくるもの……………	13
3 オレは最強だ！……………	16
3 パーソナリティー……………	21
4 志、幼少の記憶より……………	26
5 金星探査機「あかつき」の挑戦……………	30
<small>〈副題〉あかつき(あかつき)の曲がり角……………</small>	36

## 各教材に内容項目番号を記載

各教材のタイトル部分には、番号が記載されています。これは、学習指導要領の内容項目内にある番号と対応しています。

6

## 二枚のチケッ

中間テストを一周間後に控えた日曜日の窓から入り込む日差しがまぶしかった。思うのだが、今日はぱっと飛び起きた。一枚のチケットを取り出した。そして、下から昨日から始めようと思っていた中間テ

## B 人とかかわり

6 一枚のチケット……………	38
6 朝の地下鉄……………	42
7 おはよう……………	44
8 いつもいっしょに……………	47
<small>〈副題〉絆……………</small>	55
8 ちゅうたがくれたもの……………	56
8 リョウとマキ〜First Love〜……………	60
9 嘉納治五郎先生との出会い……………	66
9 二つの足跡……………	70
<small>〈副題〉道にいでてきてなまじり……………</small>	72

## 巻末にひと目でわかる 学習指導要領対応表

各学年の巻末（192ページ）には、各教材と学習指導要領との対応表を掲載しています。巻末から逆引きすることで、わかりやすく教材を選択することができます。

学習指導要領対応表

	内容	教材名
<b>A 主として自分自身に関すること</b>		
1	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	■スイッチ ■富士山を誇る
2	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をすること。	■MOTTAINAI
3	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	■ジャマナカメ
4	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	■栄冠は君に輝く ■奇跡のりんご
5	真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	■サムライ、西洋技術に挑む
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>		
6	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	■海潮 ■明日への光
7	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	■礼儀はなぜ必要なのか
8	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	■一通のメッセージから始まる物語 ■嵐の後に ■リョウとマキ～Stand by Me～
9	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があつたことを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	■席を譲ってはいけいのですか
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>		
10	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	■響い ■苦悩の決断
11	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	■ニュースで討論「支え合いは当たり前」 ■語り伝えるもの
12	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	■プラットフォームでのごきごと ■ライフ・ロール
13	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	■惣菜屋のおばちゃんと私
14	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	■一冊のノート ■迷わず選ぶ
15	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合つてよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実にも努めること。	■明かりの下の燭台
16	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	■なせば成る
17	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	■不揃いでなくちゃあかんのや ■小娘八雲が見た出雲の国
18	世界の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	■ぼくの留学体験記 ■海と空
<b>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</b>		
19	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。	■ひさの星 ■いのちの絆
20	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	■俳句
21	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	■不思議な光景
22	人間には自らの弱さや謙さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだすこと。	■いつかは言いたい二度目のごめん ■二人の弟子 ■エゴイスト

192

学習指導要領の  
応じています。

192 190 186 181 178 176 170 169 166 16

### C 集団や社会とのかかわり

14	形見	125
13	仕事と心	120
12	もも子	114
12	町内会デビュー	108
12	プロレス(二)	104
12	〈あまのこ〉ネット・コミュニケーション	103
11	グループ	98
11	永久欠番42	92
11	私の銀蔵	86
11	〈おきかへ〉私のいう「おきかへ」	84
10	自分の心の中の自分	81
10	僕じゃないのに	78
10	傘の下	74

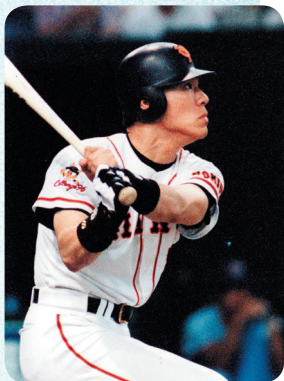
### D 自然や崇高なものとのかかわり

22	ネパールのビール	153
21	ほつちやれ	148
20	ニッポニア・ニッポン	147
20	〈あめられぬじ〉生き物たちのきん急会議	144
19	誰かのために	153
18	過去からのメッセージ	148
17	環境先進国江戸	147
16	雄司の自慢	144
16	〈あめられぬじ〉海	144
16	大地―八田與一の夢	144



長嶋茂雄

2年-P.58  
昭和の大スターと平成の大スター



松井秀喜

2年-P.58  
昭和の大スターと平成の大スター



嘉納治五郎

1年-P.66  
嘉納治五郎先生との出会い

## スポーツ

野球・柔道・剣道・バレーボールなど。さまざまなジャンルから人物を紹介しています。

本書では、身近な生活体験や事象だけではなく、先人・著名人の生き方から、生きる勇気や知恵などを感じることができ、教材を各学年で多数掲載しています。スポーツ、科学、オリンピック・パラリンピック、歴史など、さまざまなジャンルから、その背景にあった人物を紹介。気高さだけでなく、人間の弱さや醜さを吐露する姿などを知ること、生きることの魅力や意味の深さについて考えられます。

# 先人・著名人の体験や夢に学ぶ 魅力あふれる人物教材

## オリンピック/パラリンピック

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京五輪関連の人物教材です。



廣道 純

2年-P.189  
廣道純さんからのメッセージ



国枝慎吾

1年-P.16 オレは最強だ!

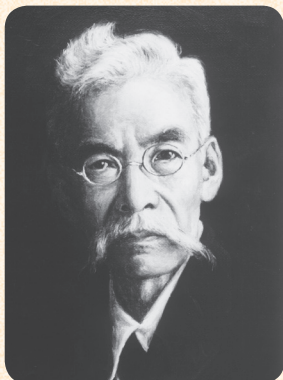


フレッド・和田 勇

2年-P.138  
日本にオリンピックを呼んだ男

# 学者

学問を追究し、輝かしい業績に至るまでには、たくさん  
の努力や挫折があることを学びます。



山極勝三郎

2年-P.29  
人工ガンをつくり出せ



福島智

2年-P.177 絶望からの生還



山中伸弥

3年-P.23 ジャマナカメ



八田與一

1年-P.153  
大地 — 八田與一の夢



吉田松陰

1年-P.26  
志 ~幼少の記憶より~



上杉鷹山

3年-P.126 なせば成る



二宮金次郎

3年-P.184 天地と共に



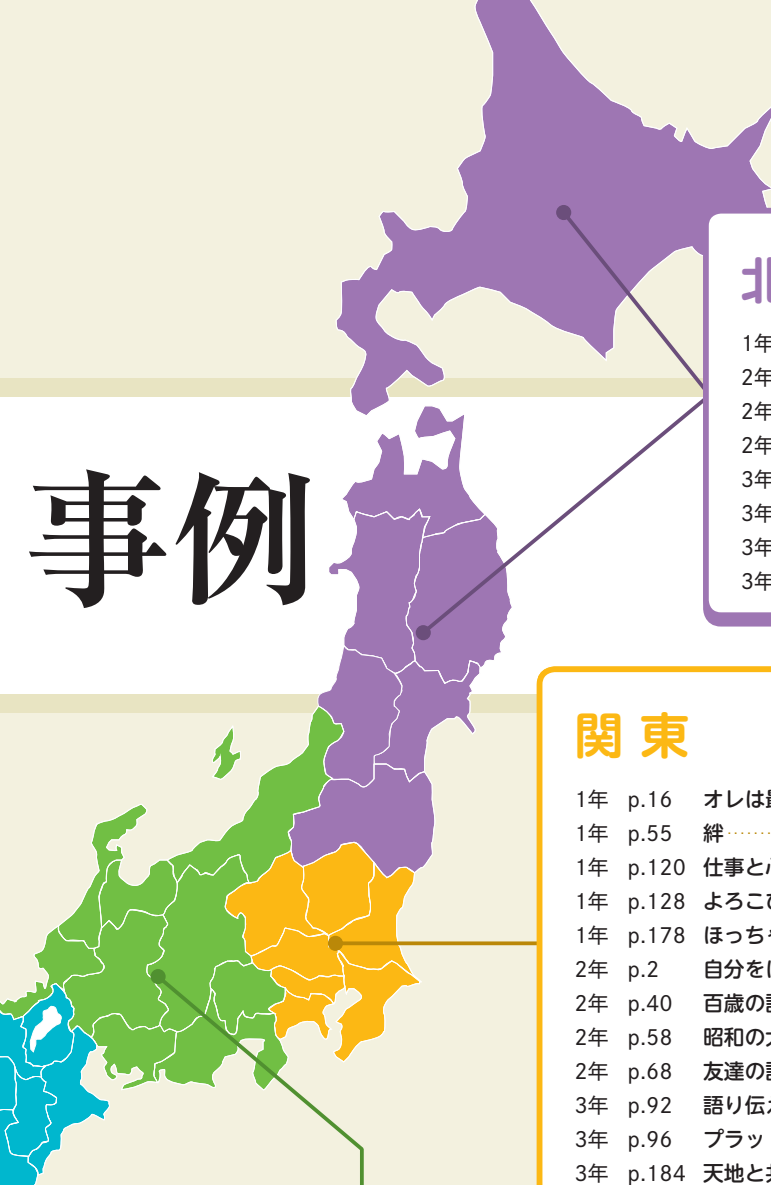
杉原千畝

3年-P.84 苦悩の決断

# 歴史人物

時代や国境を超えて、人間としての  
さまざまな「生きかた」を学べ  
る先人たちを掲載しています。

# 事例



## 北海道／東北

1年 p.114	もも子	岩手県
2年 p.47	われ太平洋の橋とならん	岩手県
2年 p.154	コンスタンチン君 命のリレー	北海道
2年 p.181	足袋の季節	北海道
3年 p.34	奇跡のりんご	青森県
3年 p.52	明日への光	東北
3年 p.117	迷わず選ぶ	福島県
3年 p.126	なせば成る	山形県

## 関東

1年 p.16	オレは最強だ！	東京都
1年 p.55	絆	千葉県
1年 p.120	仕事と心	東京都
1年 p.128	よろこびの歌	東京都
1年 p.178	ほっちゃんれ	東京都
2年 p.2	自分をはぐくむ	東京都
2年 p.40	百歳の詩人	栃木県
2年 p.58	昭和の大スターと平成の大スター	千葉県
2年 p.68	友達の詩	東京都
3年 p.92	語り伝えるもの	千葉県 (下総国)
3年 p.96	プラットホームでのできごと	埼玉県
3年 p.184	天地と共に	神奈川県 (相模国)



## 中部

1年 p.134	親子の手紙	石川県
1年 p.144	雄司の自慢	石川県
1年 p.153	大地 — 八田與一の夢	石川県
1年 p.166	誰かのために	長野県
1年 p.170	ニッポニア・ニッポン	新潟県佐渡島
2年 p.12	自分を律する五つの決め事	福井県
2年 p.29	人工ガンをつくり出せ	長野県
2年 p.58	昭和の大スターと平成の大スター	石川県
2年 p.133	受け継がれた夜	石川県
2年 p.148	白菊	新潟県
3年 p.14	富士山を誇る	山梨県／静岡県
3年 p.28	栄冠は君に輝く	石川県
3年 p.84	苦悩の決断	岐阜県





## 近畿

1年 p.2	今日からはじまる	大阪府
1年 p.66	嘉納治五郎先生との出会い	兵庫県
1年 p.141	銅像が教えてくれたこと	和歌山県
2年 p.108	繁盛のためには	大阪府
2年 p.177	絶望からの生還	兵庫県
3年 p.2	どこにもない木	三重県
3年 p.23	ジャマナカめ	京都府
3年 p.28	西田幾多郎	京都府
3年 p.28	栄冠は君に輝く	兵庫県
3年 p.130	不揃いでなくちゃあかんのや	奈良県
3年 p.142	海と空	和歌山県
3年 p.148	伊勢の神宮	三重県

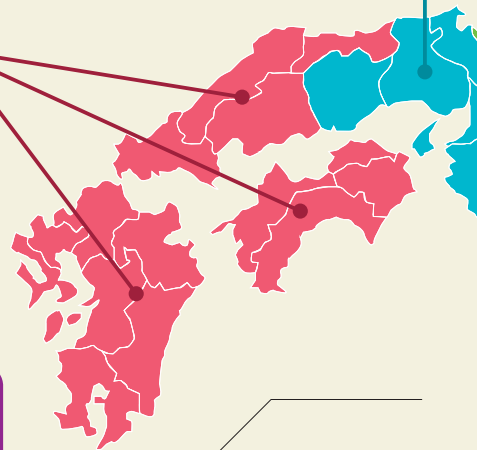
全国各地の教材が  
盛りだくさん!

# 主な地域



## 中国／四国／九州

1年 p.13	命をつくるもの	高知県
1年 p.26	志～幼少の記憶より～	山口県
1年 p.30	金星探査機「あかつき」の挑戦	鹿児島県種子島
1年 p.103	SNSで広がったボランティア活動	岡山県
2年 p.40	百歳の詩人	宮崎県
2年 p.128	よ～いや、さ～	高知県
2年 p.160	キミはあちゃんの椿	大分県
3年 p.40	サムライ、西洋技術に挑む	鹿児島県
3年 p.121	明かりの下の燭台	香川県
3年 p.134	小泉八雲が見た出雲の国	島根県



## 海外

1年 p.92	永久欠番42	アメリカ・ニューヨーク
1年 p.181	ネパールのビール	ネパール
1年 p.186	レーナ・マリアの挑戦	スウェーデン
2年 p.33	僕の後ろに道は出来る	フランス・パリ
2年 p.92	キスからもらった勇氣	ポーランド
2年 p.138	日本にオリンピックを呼んだ男	アメリカ
2年 p.142	ウズベキスタンの桜	ウズベキスタン
2年 p.146	台湾に遺したもの	台湾
3年 p.18	MOTTAINAI	ケニア
3年 p.80	誓い	中国（古代）



	2年 生き方を見つめる	3年 生き方を創造する	
<b>A 主として自分自身に関すること</b>			
	■十四歳 <small>シヨウサイ</small> の責任 ■パートリーダー	■スイッチ ■富士山 <small>フジヤマ</small> を語る	1
	■ネット将棋	■MOTTAINAI	2
	■僕 <small>ボク</small> たちのキャリアプランニング ■ワン・ステップ	■ジャマナカメ	3
	■人工ガンをつくり出せ	■栄冠 <small>カガク</small> は君に輝く ■奇跡 <small>キセキ</small> のりんご	4
	■僕の後ろに道は出来る	■サムライ、西洋技術 <small>セイ洋ギョウ</small> に挑む	5
<b>B 主として人とのかかわりに関すること</b>			
	■百歳 <small>ヒャクサイ</small> の詩人	■帰郷 ■明日への光	6
	■「道」の文化	■礼儀 <small>レイギ</small> はなぜ必要なのか	7
	■リョウとマキ～Triangle Zone～ ■雨の日のレストラン ■昭和の大スターと平成の大スター	■一通のメッセージから始まる物語 ■嵐 <small>嵐</small> の後に ■リョウとマキ～Stand by Me～	8
	■だから歌い続ける ■あなたが見えているもの ■言葉の向こうに	■席 <small>セキ</small> を譲ってはいけないのですか	9
<b>C 主として集団や社会とのかかわりに関すること</b>			
	■マナーとルール ■二通の手紙	■誓 <small>ちか</small> い ■苦悩 <small>くなう</small> の決断	10
	■キスからもらった勇氣 ■こんなとき、どうしたらいいの？	■ニュースで討論「支え合いは当たり前」 ■語り伝えるもの	11
	■ロックンローラー ■秀明 <small>ひであき</small> の初ボランティア	■プラットホームでのできごと ■ライフ・ロール	12
	■繁盛 <small>はんせい</small> のためには ■加山 <small>かやま</small> さんの願い	■惣菜屋 <small>そうさい</small> のおばちゃんと私	13
	■母のアナウンス	■一冊 <small>いっさつ</small> のノート ■迷わず選ぶ	14
	■15分間のグリーン作戦	■明かりの下の燭台 <small>しよくだい</small>	15
	■よ～いや、さ～ ■受け継がれた夜	■なせば成る	16
	■日本にオリンピックを呼んだ男 ■ウズベキスタンの桜	■不揃 <small>ふそろ</small> いでなくちゃあかんのや ■小泉八雲 <small>こいづみ</small> が見た出雲の国	17
	■白菊 <small>しろぎく</small>	■ぼくの留学体験記 ■海と空	18
<b>D 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること</b>			
	■コンスタンチン君 命のリレー ■キミばあちゃん <small>つばき</small> の橋	■ひさの星 ■臓器移植をめぐる命と心 ■いのちの絆	19
	■ガラスの地球を救え	■峠 <small>とうげ</small>	20
	■いのり	■不思議な光景	21
	■絶望 <small>ぜつぼう</small> からの生還 ■定袋 <small>ちやうぶくろ</small> の季節 ■二人の剣士	■いつかは言いたい二度目のごめん ■二人の弟子 ■天地と共に	22



# 内容項目別教材一覧

内 容		1年 生き方から学ぶ
<b>A 主として自分自身に関すること</b>		
1	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	■銀色のシャープペンシル
2	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。	■命をつくるもの
3	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	■オレは最強だ！ ■パーソナリティー
4	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	■志～幼少の記憶より～
5	真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	■金星探査機「あかつき」の挑戦
<b>B 主として人とかかわりに関すること</b>		
6	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	■二枚のチケット ■朝の地下鉄
7	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	■おはよう
8	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	■いつもいっしょに ■ちゅうたがくれたもの ■リョウとマキ～First Love～
9	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	■嘉納治五郎先生との出会い ■二つの足跡
<b>C 主として集団や社会とかかわりに関すること</b>		
10	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	■傘の下 ■僕じゃないのに ■自分の心の中の自分
11	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	■私の銀蔵 ■永久欠番42 ■グループ
12	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	■プロレスごっこ ■町内会デビュー ■もも子
13	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	■仕事と心
14	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	■形見 ■ペーパーバード
15	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	■希望の風に
16	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	■銅像が教えてくれたこと ■雄司の自慢
17	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	■環境先進国江戸
18	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	■大地－八田與一の夢
<b>D 主として生命や自然、崇高なものとかかわりに関すること</b>		
19	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	■過去からのメッセージ ■誰かのために
20	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	■ニッポニア・ニッポン
21	美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	■ほっちゃんれ
22	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	■ネパールのビール ■レーナ・マリアの挑戦

# 教師用指導書のご案内

教材の構造がすっきりわかり、  
「考え、議論する」授業ができる

## 教師用指導書セット内容

### 研究編

1教材4ページで構成。授業準備や評価のポイントなどをわかりやすく掲載。2種類の指導上の工夫（展開例）を提示しています。また、板書例は子どもの気づきや解釈を引き出す構造的な板書例」となっています。

### 朱書編

教材の基本的な授業展開例A案をもとに、発問や板書例、授業のポイントやコラムなどを厳選して掲載しています。授業中に使用しやすいようフルカラーとなっています。

### デジタル教科書

ブラウザでの閲覧ができるため、WindowsやMacintoshなどのOSや、プラットフォームを問わず使用できます。また、朗読音声や楽曲などはワンクリックで再生ができます。

### デジタルデータ集

読み物教材にはプロによる朗読音声を収録。また、すべての教材においてプリントアウト可能なワークシート、板書に活用できる写真や挿絵などのデジタルデータも収録しています。

## 授業が組み立てやすい展開例

「準備」からはじまり、「導入」「展開」「終末」に分かれており、授業の流れと中心場面を視認できます。授業のポイントを選出して提示しています。



オーギュスト・ロダン (1840～1917)

A15 教科書 33ページ

部活動  
活動を通しての探求

家庭  
趣味、習い事

からの創造

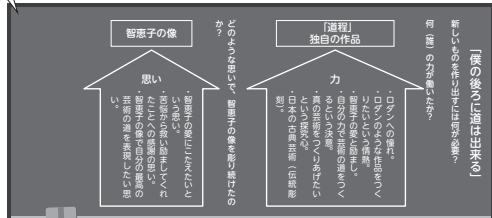
## A 指導案

### 主題名「芸術への探求」展開例

学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導と留意点
<b>導入</b> 1. 興味、関心をもつ。 ○芸術や様々な作品をつくっていく中で、新しいものを作り出すには何が重要だと思いますか。	・斬新なアイデア ・人が考えないような発想 ・探究心と努力	●独自の考えを自由に提起させる。 ●人が考えないような発想を積極的に考えさせる。
<b>展開</b> 2. 問題意識を持つ。 ○光太郎が求めていた芸術とは、どのようなものだったのでしょうか。 3. みんなで考え話し合う。 ○何（誰）の力が働いて、芸術していた光太郎は「道程」を発表し、独自の作品をつくりあげられるようになったのでしょうか。 4. 自分の考えを広げ発展させる。 ○光太郎はどのような思いで、智恵子の像を彫りつけたのでしょうか。	・ロダンへの憧れ。 ・ロダンのような作品をつくりたいという情熱。 ・智恵子の愛と励まし。 ・自分の力で芸術の道をつくるという決意。 ・自分の芸術をつくりあげたいという探究心。 ・日本の古典芸術（伝統彫刻）。	●ワークシートに書かせ、自己内話をさせる。 ●光太郎の芸術活動につき動かした力を多面的に考えさせる。 ●グループで交流し、多面的な考え方に気づかせる。 ●新しいものの創造には、その感覚に伝統の力があることも気づかせる。 ●智恵子への愛や感謝、自らの芸術の集大成への光太郎の思いに気づかせる。
<b>終末</b> 5. 動画を視聴し結ぶ。 指示：晩年に智恵子の像彫像を製作したことを踏らせた動画を観てみましょう。	・動画を視聴する	●「おさんよ 永遠に」高村光太郎後編 [7:20～10:00 (最後まで)] を視聴させ、感動の余韻を残しながら結ぶ。 （参考：文京区公式チャンネルより <a href="https://www.youtube.com/watch?v=pz17-rtz2e1r4=40">https://www.youtube.com/watch?v=pz17-rtz2e1r4=40</a> ）

### 板書例 A

導入では、生徒独自の考えを自由に提起させるため、生徒の発言をあえて板書しなくてもよい。光太郎の思いを図解で示すことで、視覚的にとらえやすくする。



## B 指導案

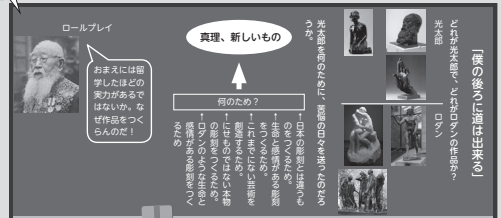
### 主題名「伝統からの創造」展開例

準備：ワークシート、高村光太郎とロダンの作品の画像

学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導と留意点
<b>導入</b> 1. 本時の教材に関心を持つ。 ○高村光太郎とロダンの作品を見てください。どれが高村光太郎で、どれがロダンの作品でしょうか。	・光太郎とロダンの作品を見分けていく。	●二人の代表的作品の画像を見せて、関心を持たせる。
<b>展開</b> 2. 教材を読み、考える。 ○光太郎を何のために、芸術の日々を送ったのだろうか。 3. 光太郎になりきり、その苦悩を語る。 ○父親（光善）から「おまえには、習字したほどの実力があるではないか。なぜ作品をつくらんの!!」と言われまわす。光太郎になりきって、返す言葉を考えてみよう。 4. 本時の学び振り返る。 指示：本時で学んだことをワークシートに書く。	・日本の彫刻とは違うものをつくるため、生命と感情がある彫刻をつくるため。 ・これまでにない芸術を創造するため。 ・にせものではない本物の彫刻をつくるため。 ・ロダンのような生命と感情がある彫刻をつくるため。 ・僕はロダンのような彫刻をつくりたいんだ。でもまだその表現が見つからないから、つけない。 ・本物の芸術がみつかるまで、つけない。	●教師が、光太郎の本物彫刻や智恵子像を紹介しながら鑑賞する。 ●光太郎が求めたことを多面的に考えさせ、ワークシートに書かせ自己内話をさせる。 ●グループ交流を行い、多面的な考え方に気づかせる。 ●教師が父親役を行い、2、3名の生徒と役割演技を行う。 ●光太郎の苦悩を自分事として考えさせる。
<b>終末</b> 5. 光太郎の「道程」の一部を朗読する。	・ワークシートに書く。 ・教師の朗読を聞く。	●感動の余韻を残しながら結ぶ。

### 板書例 B

高村光太郎とロダンの代表的作品の写真を多用することで、具体性をもって生徒の関心を引き、また、光太郎が求めていたものを視覚的にとらえやすくする。



## 1教材4ページ構成

1つの教材につき、4ページで構成しています。「学習指導案」では内容項目に沿って「評価」にて生徒の発言やワークシート等による1時間の授業を通しての評価を記載しています。「展開例」は指導の展開例をAとBの2例を提案。

A-5

教科書  
33ページ

評価

現状に甘んじることなく、より高い目標を目指し着実に歩んでいく生き方について、自分の考えを持っている。

希望と勇氣、克己と強い意志

## 僕の後ろに道は出来る



付録

・ワークシート  
・朗読CD 02  
(9:26)

### 主題設定の理由

#### ① ねらいとする価値

「真実」とは偽りのない本当の姿を指し、「真理」とは正しい在り方や誰もが認める普遍・妥当性のある法則や事実を意味している。人は歴史的にこの真実や真理を求める努力を続けることによって新たな発見や創造を行い、社会の発展や進歩を推進してきた。創造は容易ではないが、その大切さに気づかせ、新しいものを切り開いていこうとする意欲を引き出させた。その探究心が、よりよく生きる自らの将来やよりよい社会の創造に原動力になるのである。

#### ② 生徒について

##### ■ 生徒の実態

中学生になると人としての生き方や社会に対する関心が高まり、真実や真理を探究しようとする思いがさらに強くなっていく。しかし、2年生を迎える頃になると学習成果があらがなかつたり結論をいそぐあまり視野が狭くなったりすることもある。現代社会は膨大な情報を流す世の中になっているので、かえって真実が見えにくくなっている時代だが、こういうときこそ真実や真理を探究することの大切さを本時で気づかせていきたい。

##### ■ 発達段階に応じた指導の工夫

指導に当たっては、生徒の生活や学習体験を振り返りながら、真実や真理を求め新しいものを工夫して創造していこうとする積極的な態度がとれるようにする。真実や真理を探究して学問や芸術の発展に貢献した人物の生き方を学ぶとともに、その人の探究心を支えたものについて考え、自らの生き方に工夫することができるようにしていきたい。

#### ③ 教材について

##### ■ 概要

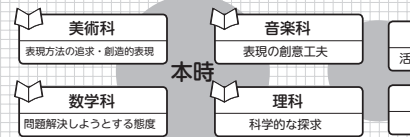
高村光太郎はロダンの芸術に憧れ、自らも芸術を深め作品を創造しようとした。しかし、ロダンのような芸術が表現できず苦悩していったのだ。そんな中、後に妻と出合い、「自分の中に何もか」を見出し、ロダンを乗り越え、独自の作品をつくりあげていくようになり、数々の名作を創造していったのであった。

### 授業に活かそう

#### 「神の手を持つ男」彫刻家ロダン

「神の手を持つ男」と称えられた彫刻家が、ロダン(1840～1917)である。しかし、彼の前途は実に多難であった。官立美術学校へ進学しようと三度受験するも失敗し、結局入学はかなわなかった。しかし、あきらめず以後約20年間、町の装飾彫刻や鋳型工の仕事を続けながら、彫刻の修行を積んでいった。「私は50歳まで、貧乏がもたらすありとあらゆる苦勞を味わった。」とロダンは言う。自らの運命を受け入れ、質素な暮らしを送り、世界的名声に輝く巨匠となったのは、60歳を超えてからのことだった。

### 関連事項～カリキュラム・マネジメント～



指導案

主題名

A 「芸術の道への探求」

ねらい

苦悩しながらも自らの芸術の道の創造を求め続けた先人の生き方を見つめることを通して、わからないことを謙虚に受け止めて探究し続け、真理や真実を求めつつ、好奇心をもって意欲的に学び、工夫して新しいものを創造していこうとする心情を育む。

指導内容

A-5 真理の探究、創造

指導案

主題名

B 「伝統が

ねらい

光太郎は何を求め、そこから脱却して新境地を拓くことを通して、伝統文化を探究して伝統文化を生み出すことに努める。

指導内容

A-5 真理の探究

40

ページ

## 授業づくりに役立つ教材分析

「主題設定の理由」は、『ねらいとする価値』、『生徒について』、『教材について』の3つの観点から明示しています。

また、コラム欄「授業に活かそう」では、授業づくりに役立つコラムを掲載。「関連事項～カリキュラム・マネジメント～」には、計画的・組織的に教育課程を編成・実施するための一例を図示しています。

## 指導案はA案とB案の2例

指導案Aは、基本的に教材に掲載されている問いを中心とした標準型の授業展開例になっています。指導案Bは、学習形態を工夫した授業展開例です。

## 構造的な板書例を提示

教材の構造を共感や対立、葛藤、統合、発展等の視点から分かりやすく視覚化することを目標としたいわゆる「構造的な板書例」を提示しています。教材のストーリーを時系列で押さえていく「川流れ式」の従来型板書では、得ることのできない子どもの気づきや解釈を引き出す効果があります。

流れに沿った展開例を明示

授業展開例に沿って、「導入」「展開」「終末」での発問を掲載。

展開

3、みんなで考え話し合う。

◎主人公がちゅうたに伝えようとした「何か」とはどんなことだったのでしょうか。なぜそのことを伝えようとしたのでしょうか。

話している。よくよく聞けば、通っていた高校を入学して一月で退学しバイクの免許を取ったのだという。定時制の学校を受け直そうと思ったこともあったのだが、そのままアルバイトをしながら過ごしているのだぞうだ。

懐かしきほもろんだが、それと同時に、この派手な出て立ちて大きな音を轟かすバイクを自宅の前に停めているちゅうたと一緒にいることがわずらわしく思えてきた。今頃、一体何を考えて僕のところに来たんだろう。近所の人が、あの頃の同級生が、まさかいじめっ子たちが、ちゅうたと一緒にいるこの光景を見たら……。不安な気持ちが膨らんできた。

居心地の悪さを感じながら、何となく話が途切れてしまった。僕は思わず「小学校の時の他の同級生には会いに行つたのか？」とたずねた。するとちゅうたは顔つきを急に険しくし、「絶対に会わない。」

と強い口調で言い放った。「自分のことを馬鹿にしていた奴らになんか、会いたくない。会うもんか。」

「やあなぜ僕に会いに来たの？」とたずねた。ちゅうたは当然という顔で、こう言った。「おまえだけ俺を馬鹿にしなかった。ただ一人の友達だからだろ。」

ドキッとしたり、面倒くさいと思つてたことだつてあつたんだ。ちゅうたのことをどこか馬鹿にしたり、面倒くさいと思つてたことだつてあつたんだ。ちゅうたのことをどこか「何可言わなきや」と思つた。その「何か」が喉のあたりにつかえていた。

「……そろそろ帰るわ。」

大きなバイクのエンジン音をふかしながら「じゃあ、またな。」と去って行く姿を見送りながら

教科書を縮刷せずに掲載

指導書「朱書編」は、教科書本文の縮尺をそのままに掲載。欄外などに発問や指導上の留意点、コラムなどを掲載しています。



B-8

教科書 56ページ

8

指導内容  
友情、信頼

ちゅうたがくれたもの

導入  
！興味、関心をもつ。  
◎主人公がちゅうたに伝えようとした「何か」とはどんなことだったのでしょうか。

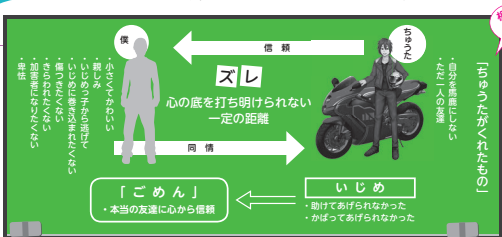
◎教材の内容理解を深めるために、主人公とちゅうたの思いを確認する。  
●理由を問いつつ、主人公の胸の奥を感じ取らせる。

小学校入学から六年生になるまで、ずっと同じクラスだった友人がいた。あだ名はちゅうた。背が低くて体が細く、いつもすばしっこく動き回り、その姿は元気なはずがねずみを連想させた。特に自転車に乗るのが得意だった。得意というより、よくいじめっ子が体の小さいちゅうたを追いかけ回し、それから逃げるのがうまかったとも言える。僕はちゅうたが逃げ回るのを少し離れて眺めながら、逃げ切るのを心の中で応援していた。巻き込まれるのは嫌だったし、ちゅうただつて僕にいちいち助けってもらうのは嫌だろうと思つたからだ。ちゅうたが助けを求めてきたこともなかった。

車が好きだつちゅうたは、いつも追てすれ違ふ車を指さしては嬉しそうに説明してくれた。あまりにも楽しそうに話すから、ついその説明に引き込まれてしまつていた。だけど、車の名前をいつまでも覚えておかない僕に「全然わかってねえなあ」と偉そうに言う、思わず「ちゅうたみたいな子と乗るなんて乗れないだろ。」と言いつつ返すようになった。でも言

板書例 A

前半でちゅうたが、それぞれの思いを継承書きに二人の気持ちを確認しながら板書を進める。中心発問で主人公がちゅうたに何を伝えたかったのかを考えた上で友情についての思いをあたためる。



構造的な板書例

指導案に沿った「構造的な板書例」を掲載しています。

指導上の留意点

教材の冒頭には、指導案の「ねらい」、「主題」。指導要領の「内容項目」を明示しています。また、指導のヒントも掲載しています。

- 主人公とちゅうたが感じる友情の大きさを比べてみる。
- ちゅうたが、主人公に対して案の自分のままで接している姿に気づかせる。
- 主人公はちゅうたの言動に反発せず受け入れてはいるが、苛つきも感じる姿に気づかせる。

指導案 A 主題名 「友に学ぶ」

ねらい

自分から友情を築くための共通の課題について考え、互いの正しい理解によって豊かな人間関係が築かれることに気づき、それらを大切にしようとする心情を培う。

指導内容

B-8 友情、信頼

朗読CDアイコン



朗読CD 02

左記のアイコンがついている教材は付録の朗読CDに朗読音声収録されています。

# デジタル教科書

## 目次を開く

目次が表示されます。朗読音声へのアクセスもできます。

## 目次を開く



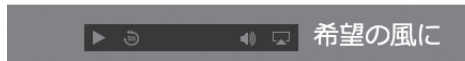
## ブラウザ上で閲覧できる

特別なアプリやソフトのインストールは不要です。お使いのPCやタブレットなどインターネットを閲覧するために付属しているブラウザを利用して閲覧可能です。

## 朗読音声・楽曲の再生

DVD-ROM 内に収録されている「デジタル教科書」は、インターネットブラウザ上で閲覧できます。各種 OS で利用可能ですが、推奨環境は同梱の「Readme.html」を参照してください。また、デジタル教科書でも、該当ページでボタンをクリックすることで、朗読音声もしくは楽曲を再生できます。

### ●朗読音声パネル（該当ページ下部）



### ●楽曲ボタン（該当箇所）



## 【著作者】

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 白木みどり | 金沢工業大学教授         |
| 足立由美子 | 東京都墨田区立寺島中学校教諭   |
| 市川千秋  | 京都大学特任教授         |
| 小池秀明  | 群馬県前橋市立広瀬中学校教頭   |
| 坂口峻   | 金沢工業大学           |
| 平真由子  | 石川県白山市立松任中学校教諭   |
| 高城淳之  | 東京都立三鷹中等教育学校教諭   |
| 藤永啓吾  | 山口大学教育学部附属光中学校教諭 |
| 星直樹   | 早稲田実業学校初等部教諭     |
| 松尾大輔  | 浪速高等学校・中学校教諭     |
| 丸岡慎弥  | 大阪市公立小学校教諭       |
| 三輪真也  | 石川県金沢市立高岡中学校教諭   |
| 森炎    | 弁護士・元裁判官         |
| 山田誠   | 筑波大学附属小学校教諭      |
| 山本崇之  | 麗澤中学・高等学校教諭      |
| 渡邊毅   | 皇學館大学准教授         |
| 吉田ひとみ | 兵庫県加東市立社中学校教諭    |
| 渡辺豊   | 新潟県刈羽村立刈羽中学校教諭   |

日本教科書株式会社

（令和2年3月現在）

# 教えられない。

私は教師でした。

公立中学校で道徳を教えていました。

「道徳という教科は教えられない」

「評価もつけられない」

道徳には、そうした現場の声が

つきものだということ

身に沁みて知っています。

この教科書は、そうした先生方の

長年の声に応えるべく作り上げました。

本書の執筆には、

現場の先生方が多く関わっており、

深く議論して制作されています。

# 道徳という教科は 評価もつけられない。

私たちが大事にしたのは2つ。

「教える」のではなく、

道徳っておもしろい！と感ぜられて、

「考え、議論する」道徳授業ができること

「評価する」のではなく、生徒を認め

励ます視点があること

授業をする先生方の視点に立って、

教室で自然と議論が巻き起こるような

教科書となれば、この上ない幸せです。

白木みどり

# 出会い、 ふれあい、 学びあう

「生き方」から学び、

「生き方」を見つめ、

「生き方」を創造する。

——これが私たちの目指す道徳です——